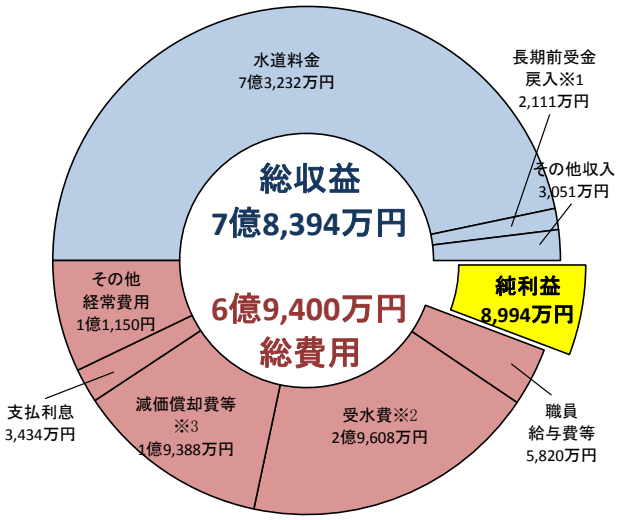
■水道事業 平成26年度決算（平成27年3月31日現在）

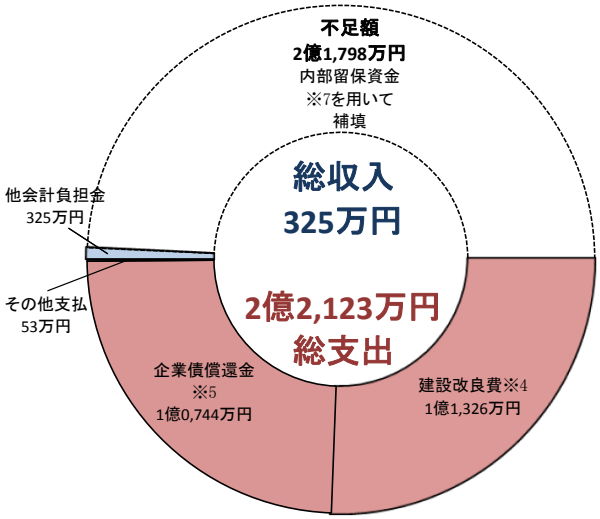
【収益的収支（消費税抜き）】

水をお届けするための収支



【資本的収支（消費税込み）】

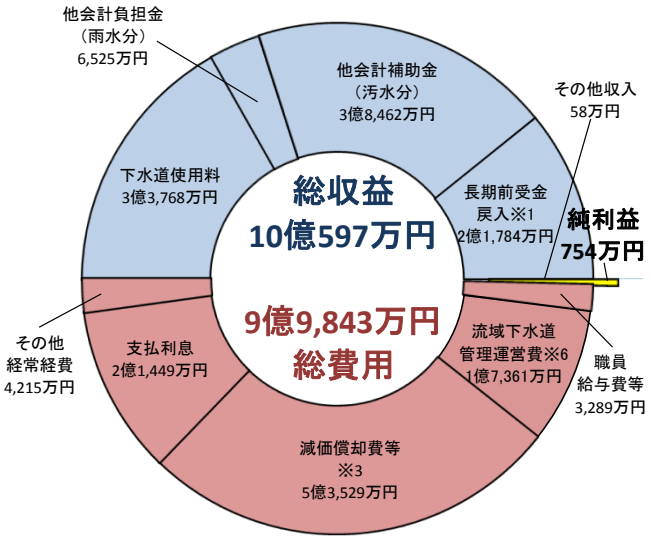
施設を建設・更新するための収支



■下水道事業 平成26年度決算（平成27年3月31日現在）

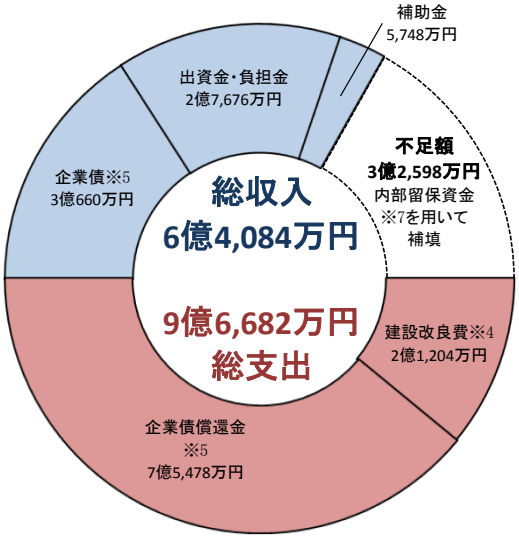
【収益的収支（消費税抜き）】

汚水・雨水を処理するための収支



【資本的収支（消費税込み）】

施設を建設・更新するための収支



《解説》※1：**長期前受金戻入**＝資産取得時に国などから受けた補助金や受益者負担金を、その資産の減価償却期間に分割して収益化するものです。平成26年度より公営企業会計制度が改正され、新たに計上されることになりました。
※2：**受水費**＝本市では水道用水の全てを山形県（置賜広域水道）から受水しており、その購入費です。
※3：**減価償却費**＝長期間使用される固定資産（設備等）の取得費を、その資産が使用できる期間にわたって費用配分したものです。
※4：**建設改良費**＝水道や下水道施設の建設や更新、配水管や下水道管などの布設や改良工事を行う事業費です。
※5：**企業債**＝施設整備のための借入金です。償還金は、企業債の元本返済分です。
※6：**流域下水道管理運営費**＝本市の公共下水道は、山形県の最上川流域下水道（置賜処理区）に接続して処理しており、その負担金です。
※7：**内部留保資金**＝減価償却費など、実際にお金の支出がない費用計上によって生じた資金や、利益の積立金を内部留保資金といいます。この資金を、資本的収支の不足分に充てています。